



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第6巻第2号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第6巻第2号) 編集後記・購読要項・投稿内規
. 泌尿器科紀要 1960, 6(2): 152-152

ISSUE DATE:

1960-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111898>

RIGHT:

Vol. 6, No. 2

Acta Urologica

February, 1960

泌尿器科紀要

第 6 巻 第 2 号

昭和 35 年 2 月

随想 研究の組織化.....	高 井 修 道	83
泌尿器科領域に於ける血清電解質の研究		
第 I 篇 正常人の血清 Na, K, Ca 濃度及び尿素窒素量.....	粉 川 崔 美	85
前立腺癌並びに同肥大症の睪丸に就ての組織学的並びに組織化学的研究		
第 2 報 性ホルモン及び副腎皮質ホルモン投与が睪丸に及ぼす影響に ついての実験的研究.....	小 山 勇	90
精囊腺の生物学的研究		
第 I 編 精囊腺別出海狸の睪丸組織像について.....	水 口 宗 男	101
泌尿器科領域に於ける 17-Ketosteroid の研究補遺		
第 II 篇 正常人尿中 17-Ketosteroid の排泄値.....	大 場 令 史	109
尿中中性 17-Ketosteroids の Polarograph 的定量的研究		
第 II 篇 Polarograph 定量法の尿中中性 17-Ketosteroids の分割測定 への応用及び健康成人尿中中性 17-Ketosteroids 分割値.....	玉 置 明	113
持続勃起症について—症例と文献のまとめ—片 村 永 樹・友 吉 唯 夫・玉 置 明・足 立 明		122
他側腎に結石を伴った先天性尿管弁膜症.....	百 瀬 剛 一・吉 田 道	137
膀胱白板症々例.....	水 本 竜 助・佐 藤 徳 郎・山 田 伝 吉	142
経腹膜の尿管結石摘出術に就いて.....	大 場 令 史・森 野 三 和 子	146
シノミンによる尿路感染症の治験.....	稲 田 務・片 村 永 樹	148
学会記事 第 7 回日本泌尿器科学会関西地方会.....		151
編集後記・購読要項・投稿内規.....		152

Studies of the Serum Electrolytes in Urology

- I. Normal Levels of Serum Sodium, Potassium, Calcium and Urea-Nitrogen.
..... T. Kokawa... 85

Histopathological and Histochemical Studies on the Testis of Prostatic Cancer and Prostatic Hypertrophy

- Report 2 : Experimental Studies on the Effects of Sexual Hormones and of Corticoids upon the Testis..... I. Oyama... 90

Biological Study on the Seminal Vesicle

- I. Histological Study on the Testis of the Vesiculectomized Guinea-pigs.
..... M. Minaguchi... 101

Studies on 17-Ketosteroid in the Field of Urology

- II. The Normal Rate of 17-Ketosteroid Excretion..... N. Ōba... 109

A Study of the Polarographic Quantitative Analysis of the Urinary Neutral 17-Ketosteroids

- II. Fraction of Urinary Neutral 17-Ketosteroids by Means of Polarographic Estimation and Chromatographic Pattern of the Urinary Neutral 17-Ketosteroids in Healthy Man..... H. Tamaki... 113

Priapism

- 4 Cases Report and Review of Japanese Literature.
..... E. Katamura, T. Tomoyoshi, H. Tamaki and A. Adachi... 122

A Cases Report of the Congenital Ureteral Valve Accompanied by Calculus Formation in the Opposite Kidney.....

- G. Momose and O. Yoshida... 137

Report of A Case of Bladder Leukoplakia.

- R. Mizumoto, T. Sato and D. Yamada... 142

Transperitoneal Urethrolithotomy.....

- N. Ōba and N. Morino... 146

Treatment for Infection in the Urinary Tracts with Sinomin.

- T. Inada and E. Katamura... 148

Society Transactions.....

- 151

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol.

編集後記

中部地方会の事(Ⅱ)11月6日の日泌理事会に中部から楠, 稲田が出席するが, その際に中部として要望すべき事項に就て検討された。理事の中に健保担当の人を選び泌科関係の健保問題を検討して貰いたい, 文部省科学研究費配分に泌科として妥当な方法はないか, 坂口賞のあり方に就ては, 坂口先生の御意志や当初からの事情もあるが, 日泌学会の事業として行う以上は現在の学会に於いて改めて検討するのがよからう, 大学に於ては泌科講座独立, 総合病院に於ては泌科新設を促進するように努力してほしい等と, 活発に発言せられた。これらは斯学の発展のために極めて重要な事である。

次回の大阪医大(石神教授)は既に決定しており, 次々回は岐阜医大(近藤教授)と決められた。開催地はなるべく多地方に亘るのがよいが, そのためには開催地にあまり経済的負担をかけぬようにせねばならぬ。

学会は経済センター講堂で行われたが, 実によい会場である。会の運営も順調であつた。出席者は約200名と算えられた。金沢助教授の特別講演, 尿道疾患のシンポジウムは共に有意義なものであつた。然しシンポジウムのやり方はなかなかむずかしい。一般に各講師がそれぞれの分担課題を10分か15分ずつ単独講演する形になり易い。どうしたら本当のシンポジウムとしての意義を発揮出来るか。これは本会に限らず, 各学会にて大いに研究すべき問題である。また地方会にてはシンポジウムや座談会的のものを主とするべきか或はなるべく多くの会員に気軽に症例報告でも発表する機会を与えるべきか等に就ても考慮する必要がある。

一般演説の持ち時間を超過するものが少くなかつた。先般の東部地方会に比べて, その点がややルーズのように思えた。然し結局は全体で45分間程の延長で終つたので, あまりやかましく, 神経質になる程の事もないようだ。とはいふものの, やはり時間は守るのが本当であろう(次号へ続く)。(昭和35年2月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金1,000円を前納する。1冊料金100円, 払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部, 或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ), 住所(雑誌郵送先), 勤務先, 職地位, 自宅開業の別, 送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説, 原著, 臨床報告, その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き, 当用漢字, 平仮名, 新仮名使いを用い, 片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表, 附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。
例. 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し, 之には欧文の標題, 所属機関名, ローマ字著者名を付け, なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円, それ以上の頁, アート頁, 図表, 写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈, それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。